

公表 事業所における自己評価結果

事業名称	運動学習支援教室ふれんず山王教室					公表日	令和7年	2月	21日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	集約活動が行えるよう、児童の多い発達室の壁を假り一つの空間とする。放課後デイサービスではまだ壁のない広さのある部屋として応用しています。					
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	児童数に人対し指導士など一定数の人員配置確保を徹底し、加療が必要な子どもは人員増強を検討しております。保育士、医療従事者などの専門知識を持つ職員を増やし必要に応じてスタッフ配属を図っています。		ジョイントマットの敷設やすまりの有無を確認する。機能的な使用と安全がないため、今後必要に応じた設備を整えています。			
	3 生活空間は、こどもにかかりやすく構成された環境になっているか。 また、事務所の設置等は、業務の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が図られているか。	6	0	室内の照明等に明るさを考慮した仕様を選定しています。床には重量型タイルにて高さ差によるジョイントマットを敷設されています。					
	4 生活空間は、清潔で、心もとよく過ごせる環境になっているか。また、こどもの通いの都合に合わせて空間となっているか。	6	0	毎日の清掃、消毒を行い清潔な環境づくりに努めています。空気清浄機や換気扇などを活用し、換気を徹底します。活動スペースには自然光により、多目的に使用できます。					
	5 必要に応じて、こどもが個別の居場所や場所を使用すること認められる環境になっているか。	6	0	机の上の席を外すのは自由な中で自由に遊ぶ希望を出す場合、必要に応じて事前説明等の対応を行っています。					
	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	6	0	PDCAサイクルは毎日実施の一環行っており、午前・午後、送迎の手続き・事後ミーティングを行っています。					
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改良につなげているか。	6	0	保護者向けの評価票、事例活用のアンケートを通じて保護者のニーズの嗜好性の把握に取り組んでいます。					
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改良につなげているか。	6	0	月に1回職員会議を開催して意見を交換を行い、業務の内容の検討・改善に努めています。					
	9 第三者による外部評価を行い、詳細結果を業務改善につなげているか。	6	0	実地指導による外部評価があり、それに基づき必要に応じて業務改善に向けた取り組みをしています。また、施設職員や保護者の見守りを促進することで内部の評価意識を高め信頼を得ています。					
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を実施する機会や法人内でも研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	外部のオンラインでの研修に参加しています。職員それぞれが専門性向上を目指しています。					
業務改善	11 適切な支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	ホームページ上に支援プログラムを公表しています。					
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	見学や相談時、又は入会前のニーズを把握し、行動観察を用いて「機能別セッション」を行った上から、支援内容を選定しています。					
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児発発達支援管理責任者だけでなく、こどもの状態に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	職員間でミーティングを実施して情報を共有を行うと共に、職員が随時変更が必要だと認識できるように確認できようとしています。					
	14 放課後等デイサービス計画で職員間にも共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	必要に応じて利用者の発達レベルや興味関心で行った実践結果を共有したりはなし、施設長や教師しています。また、ワーカーごとき担当者間の成長段階に合わせたコース提供、再考により、療育の方向性を調整しながら適切な支援を提供しています。					
	15 こどもの適応行動の状態を、標準化したツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	必要に応じて利用者の発達レベルや興味関心で行った実践結果を共有したりはなし、施設長や教師しています。また、ワーカーごとき担当者間の成長段階に合わせたコース提供、再考により、療育の方向性を調整しながら適切な支援を提供しています。					
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後の支援」及び「地域連携・他機関連携」のねらい及び支援内容も踏まえてあるか。こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が記述されているか。	6	0	放課後等デイサービスガイドラインに沿った支援内容を踏まえつつ個別支援計画へ記載、記載しています。また、放課後の支援内容は、放課後の時間や状況によって柔軟に対応可能なように設計されています。					
	17 活動プログラムの立案チームを行っているか。	6	0	ミーティングではスタッフ1人が自由に意見を言い、支障の発生や危険回避の観点等、判断を最終まで行っているようです。					
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	児童一人一人やグループの特性に合わせたプログラムを開発し、季節ごと、季節や児童の成長度、進捗に合わせて更新していきます。					
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	個別の活動、集団活動の両方を必要に応じて選択して行うこと、支援を行っています。					
	20 支援開始前にスケジュール必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	活動前日に職員ミーティングを行います。支援開始時には利用者の様子やプログラムの流れ、主要方法を話し合い、終了後は支援担当者の反省の場、記録をとります。それを次の日のアフターアップ時間に活かしています。					
適切な支援の提供	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	6	0	活動後に職員ミーティングを行います。支援開始時には利用者の様子やプログラムの流れ、主要方法を話し合い、終了後は支援担当者の反省の場、記録をとります。それを次の日のアフターアップ時間に活かしています。					
	22 日々の支援に関して記録をとること厳禁とし、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っています。					
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っています。					
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本原則」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6	0	運動や音楽、認知トレーニングと放課後の活動、自己探求活動を中心に組み立てます。また遊び場への移動の際の利用者の意欲や体調の変化などに合わせてサポート等で変化を図り、自分自身を知る喜びを感じてもらいます。活動中の経過を観察しながら必要な支援が提供されるようになっています。					
	25 このほか自己決定ができるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための工夫をしているか。	6	0	活動中に自己決定ができるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための工夫をしているか。					
	26 障害者相談支援事業所とのサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	6	0	特徴がある子どもに関する発達支援管理責任者や管理者、児童指導員等の出席を促しています。					
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関）、障害福祉、教育、警察等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	必要に応じて関係機関との連絡を取っています。					
	28 学校の関係者（年間計画・行事予定等の交換、このうち下校時刻の相違あり）連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連携）を適切に行っているか。	6	0	行事予定などは保護者と事前に了解を得ています。送迎時やトラブル発生時に迅速に対応できる体制を整えています。また、学校側からの要望や問い合わせについては、迅速に対応できるよう体制を整えています。					
	29 就学季に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有や相互理解に努めているか。	6	0	必要に応じて親戚訪問を行い、過去の経緯をもっと情報共有に努めています。					
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所へ移行する児童や家族、それ以上の支援内容等の情報を提供する等としているか。	4	1	児童発達支援センターで再度検査や相談を受けた場合に、その旨を関係機関や自治体へ通知し、今後の支援に向けて連携を図っていきます。					
関係機関や保護者との連携	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイザーや助言や研習会などの機会を設けているか。	6	0	事業所内の資源を活用したイベントや、家庭主権のイベント、お祭りやフェスティバル開催など、地域の団体と一緒に活動や交流する機会を設けられています。					
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもたちと活動する機会があるか。	6	0	事業所内の資源を活用したイベントや、家庭主権のイベント、お祭りやフェスティバル開催など、地域の団体と一緒に活動や交流する機会を設けられています。		児童館とは近接しており頻りに利用できるメリットがありますが、数量として一時的に不足することがあります。今後も必要に応じて連携していく予定です。			
	33 [自主企画] 協議会等積極的に参加しているか。	5	0	関係者、必要に応じて参加しております。					
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	日々の活動の様子についての関係機関について話をするとともに、必要に応じて個別の相談の機会を設けています。					
	35 家族への対応力の向上を図る観点から、家族に対して子育て支援プログラム（ペアレント トレーニング等）や家族療育の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	ファミリーサポート制度に対する啓発やサービスの普及を促しています。					
	36 運営規程、支援プログラム、利用者同意書について丁寧な説明を行っているか。	6	0	説明時に説明を行っております。また継続的なコミュニケーションを図ることが重要であり、説明の際についても必要に応じて追加説明の機会を設けています。					
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの権利の保障の観点から慎重な観点のもとで、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	児童・保護者の意向、ニーズを最大限で満たしています。また説明に際しては親子で来訪が可能で安心して参加するための配慮を行っています。					
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	説明シートなどで支援計画の説明をする場合を除き、同意を得ています。					
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要となる支援を行っているか。	6	0	利用者が気軽に話したいという気持ちや質問されたフィードバックに対応できるように、また必要に応じて電話サポートサービスでの対応も行ってまいります。					
	保護者への説明等	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設けることや保護者に寄り添うこと、あるいは母子で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	今年度は保護者の会は実現ありませんでしたが、保護者の悩みに寄り添うことで保護者同士のつながりが生まれることを目指しています。保護者会開催の準備がすすんでいますが、実現したいと思います。				
41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		6	0	苦情があった際には、管理者および担当者が迅速に対応して適切に対応するよう心がけています。また受け付け人員の再配置に努めています。					
42 定期的に連絡等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		6	0	活動概要や行事予定、連絡体制を行う範囲に行っています。また保護者向けに、HPやSNS、教室内掲示などで発信しています。					
43 個人情報のお取り扱いに十分留意しているか。		6	0	個人情報や機密性の高い資料は鍵のかかるキャビネットに保管しています。					
44 母体があるこどもと保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		6	0	保護方針を工夫し、個人個人に合わせて取り組みやすい形で伝えるようにしています。					
45 事業所の行事に地域住民が参加する等、地域に関わった事業運営を図っているか。		6	0	ファミリークラブの企画、児童福祉フェスの開催などの単位を設け、地域住民の参加を促して実施してもらえるような事業運営を必要により図っています。					
46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等が実施するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		6	0	マニュアル、計画等はすべて作り、児童・職員や子どもと保護者の連絡体制を整えています。					
47 事業継続計画（BCP）を策定するとともに、非常時の発生に備え、定期的な確認、救出その他必要な訓練を行っているか。		6	0	マニュアル、計画等はすべて作り、児童・職員や子どもと保護者の連絡体制を整えています。					
48 事前に、服薬や予防接種、でんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。		6	0	医師の指示や説明、アレルギーについて確認し、必要に応じて事前説明を行っています。					
49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示に基づき対応がされているか。		6	0	アレルギーのあるこどもについて、医師の指示に基づき対応がされているか。					
非常時等の対応	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要必要な措置を講じ等、安全管理が十分な中で支援が行われているか。	6	0	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練などを行っています。					
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく関係内容について、家族等と周知しているか。	6	0	安全計画に基づいた注意喚起や事例共有などを家族や関係機関や自治体と連携して行っています。					
	52 ヒヤリとした事例内で不利益、再発防止に向けた方策について検討を行っているか。	6	0	危険事例や事故があった場合、目的の再発防止策、ミーティングを通して職員共有しています。再発防止に努めています。					
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	外部の研修を受ける機会を設けています。また施設内に虐待防止委員会を設置し、虐待防止策、職員支援体制の構築を行っています。					
	54 どのような場合においても必ず身体拘束を行う方策について、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		虐待防止策はありますが、対応策がない場合、施設内職員によって行われるため、保護者の了承を得ずに実施する可能性があります。			